

国民の予算案賛成 玉木代表、自ら表明

国民民主党は21日、衆院予算委員会で2022年度予算案に賛成しました。野党が政府の当初予算案に賛成するのは極めて異例です。

玉木雄一郎代表は予算委で質問予定だった同党の前原誠二氏に代わって質問に立ち、「わが党が先の衆院選の追加公約で

掲げた、いわゆる『トリガー条項』凍結解除による減税の検討を（岸田文雄）総理が明言されたことを踏まえて、国民民主党として賛成することを決めた」と発言しました。

国民民主党が提出した予算組み替え案は与党に否決されました。

古川元久国対委員長は

政府予算案について、

「足元の経済対策が不十分」であり「国民生活を下支える対策が無いに等しい」と批判しながら、「不十分ながらも賃上げと人への投資を重視している点では、大きな方向性でわれわれと軌を一にしている」などと賛成討論しました。